ニュースと話題
NEWS & TOPICS

8月24日 薪の明かりの中、能が観客を魅了

岩村城藩主邸跡（岩村歴史資料館前広場）で、いわむら城址薪能（たきぎのう）が開催されました。この薪能は、いわむら城址薪能実行委員会の主催で、昭和60年の岩村城築城800年祭を記念して始まったもの。

能『楊貴妃（ようきひ）』では、重要無形文化財総合指定保持者の玉井博祜（ひろこ）さんが主演。楊貴妃の悲しみを情感たっぷりに演じ、観客を引き付けました。

日が沈み辺りが暗くなると、薪に火が入れられました。炎のパチパチという音が響き渡る中、狂言『仏師（ぶっし）』と能『野守（のもり）』が上演。350人の観客は、眼前で繰り広げられる能の迫力に息をのんでいました。

9月3日 学校に役立ててと今年も寄付金贈呈

三郷町に本社を置き、主に自動車部品の製造を行うユニオン機工株式会社が、学校教育に役立ててほしいと、昨年に引き続き市へ寄付を行いました。

市では、昨年は、同社の学区である三郷小学校と恵那西中学校の備品購入費に活用。今年は、恵那西中学校区である長島小学校で活用する予定です。

寄付金目録贈呈式に同席した長島小学校6年生の野﨑莉央（りお）さんと小泉心美（ここみ）さんは「読書好きの子が多いので本が増えるといいと思っています。本や学校で必要な道具の購入に使わせていただきます」とお礼を言いました。

9月1日 災害に備えて、各地で防災訓練

南海トラフ地震により市内で震度6の揺れが襲ったと想定し、市総合防災訓練が行われました。朝8時、防災行政無線や音声告知器、電子メールなどで地震発生が知らされると、誘い合って一時避難所へ避難する姿が見られました。

参集訓練の後は、地区別訓練が行われ、避難所の開設や情報の取りまとめ、炊き出し、けが人の救護などの訓練が各地で行われました。昨年に引き続き、市内小中学校の児童生徒も訓練に参加。災害が起こったとき、自分自身や家族、周りの人を守るための行動ができるよう、主体的に動くことを目指し、真剣に取り組みました。

9月4日 ストリートダンス世界大会で優勝

イギリスで行われたストリートダンスの世界大会「UDO（ユーディーオー） WORLD（ワールド）」で、市内の中学生2人が入ったチームが優勝し、市長に優勝報告がありました。

報告に訪れたのは、山岡中学校3年生の西尾美心（みみ）さんと、岩邑中学校2年生の堀井日菜（ひな）さん。2人は、名古屋市のダンス教室に通っており、17人チームの一員として出場しました。世界大会では、大人も出場する最高位の部門にエントリーし、見事優勝を勝ち取りました。西尾さんは「緊張をエネルギーに変えて全力で踊れた。踊り終わるとスタンディングオベーションが起きてうれしかった」と振り返りました。

9月10日 農高の空心菜が国土交通大臣賞受賞

本年度の水資源功績者表彰で、恵那農業高等学校環境科学科3年生水質浄化専攻班の6人が国土交通大臣表彰を受賞。市長へ報告に訪れました。

同校では、平成16年から阿木川ダムで空心菜を栽培し、水質浄化に取り組んできました。この15年間で、空心菜の水耕栽培株数は1万3千株を超え、約15万立方㍍の水の浄化効果がありました。

リーダーの纐纈仁志さんは「これまでの先輩方の積み重ねがあって今回受賞できた。阿木川ダムの水は栄養豊富なので、これからも栄養価の高い空心菜を作っていきたい」と話しました。

9月11日 トコトコ恵ちゃんバスが明智光秀に

市観光協会のバスツアーで活躍しているトコトコ恵（めぐ）ちゃんバスに、明智光秀のラッピングが施され、出発式が行われました。同協会では、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始に合わせ、明智光秀ゆかりの地である恵那市をPRするため、デザインを全国から公募。市内の他、名古屋市や千葉県などからも多数の応募がありました。審査の末、大井町在住の村松毅さんのデザインが選ばれました。

同協会の阿部伸一郎会長は「明智光秀ラッピングバスが全国を飛び回ることで、恵那市を全国に発信していきます」と意気込みを語りました。

9月12日 ポーランドカヌー連盟が市と協定

ポーランド共和国カヌー連盟と市は、2020年の東京オリンピック事前キャンプ地に関する協定を締結しました。

協定で、ポーランド共和国カヌー連盟は、本市で事前キャンプを実施すること、市が実施する市民との交流イベントなどに参加することを約束。市は、大会に向けた練習場を提供すること、大会での活躍に向けて支援すること、予算の範囲内で練習環境を整備することを約束しました。

同連盟のタデウス・ロブレブスキー会長は「良い環境で選手たちがトレーニングできることを期待している。良い成果が出せるよう頑張りたい」と話しました。

9月20日 秋色の棚田で中野方小児童が稲刈り

日本棚田百選の一つとして知られる坂折棚田（中野方町）で、中野方小学校5、6年生27人が稲刈りを行いました。

同校5、6年生は総合的な学習の時間で、棚田の田植えや草取りを行ってきました。

迎えたこの日は絶好の秋晴れ。最初に「感謝の気持ちを込めて、丁寧に刈ろう」と確認し合った後、児童らはNPO法人坂折棚田保存会員の皆さんに教えてもらいながら、鎌で次々と稲を刈っていきました。

6年生の柘植弥勒（みろく）さんは「疲れたけど楽しかった。棚田のお米はおいしい。今年もおいしいお米が収穫できたと思います」と話しました。